

2024年10月3日

京都市長 松井孝治 様  
京都市左京土木みどり事務所長 山崎 政和 様

哲学の道保勝会  
会長 田村真和

## 哲学の道保全に関する要望書

日頃から、私たちの住みよい京都市の環境保全にご尽力いただき、感謝いたします。「哲学の道」周辺一帯の地域は千年以上も昔から、京の都にとって重要な場所でした。近年も新しい文化を生み出し続けています。琵琶湖疏水ができて百年余がたちました。それに沿った「哲学の道」は多くの文化知識人が集い、その時々時代の先端を担ってきたところ です。

市中にあってなお緑多く、季節を問わず散策の人が絶えない「哲学の道」は、私たち地元住民のみならず、京都市の誇りです。「日本の道100選」に選ばれたのもそのことを表しているのではないのでしょうか。

私たち「哲学の道保勝会」（以下、「保勝会」と言います）は、この豊かな環境を少しでも後世に残したいと、微力ながら長年活動してきた団体です。

さて、「哲学の道」には、保守管理の不十分さのために、次のような問題があります。

- ・ 傷んだところの水たまりの発生の問題
- ・ 穴埋めに使うバラス(小石)の飛散による周辺家屋などへ与える損傷、砂ぼこりなどの被害の発生の問題。
- ・ 路面の不整備により、車いすの通行が困難であり、それだけでなく車椅子を利用しない人にとっても転倒等の危険がある問題。
- ・ 舗装個所の損傷部分が十分補修されていない問題。

保勝会としても、これらの問題点について、どうにかできないものだろうか、頭を悩ませ続けて来ました。

上記のことを踏まえて今年度に「道路問題検討チーム」を立ち上げ、京都市内の色々な「道」を調査するなど、道のあり方を検討してきました（その調査の詳細についてはホームページの別紙チラシをご参照ください）。

私たちは「地道」のまま、なおかつその「弱点」を解決できる道はないものかと考え、その答えの一つとして、賀茂川の植物園西にある「半木（なからぎ）の道」にたどり着きました。